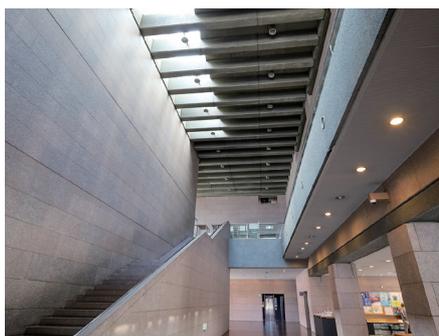


学べるトラバール

05



いわき市立美術館



← 建築面積に対し、収蔵展示の効率が良く、建築物としての評価も高い同館



← 年間スケジュールを組んで、さまざまな企画展、常設展が催される

いわき市立美術館は昭和五十九（一九八四）年四月二十八日の開館。設立の経緯は、開館の六年前、昭和五十三年に市民ギャラリーが主催した「ヘンリー・ムーア展」、翌年の「ロダン展」などが大きな反響を呼び、市民運動として建設の機運が高まったこと。

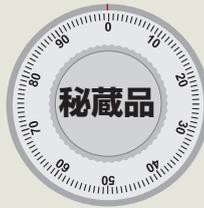
基本方針に、「地域の美術館として市内の美術の普及に努め、いわきの新しい美術文化創造の拠点となると同時に、新しいまちいわきにふさわしい今日の（戦後の）美術を広く世界的な視野で収集し、将来への遺産とする」と掲げた。これらを受け、主に市由来の美術品と、戦後の現代美術品を柱として収集、展示に踏み切る。

敷地面積は三千六百二十一平方メートル、延べ床面積四千三百八十平方メートル。エントランスホールの吹き抜けが特徴的な建物で、建築事業費は当時の価格で十八億二千六百万円余。

現在の収蔵点数は約二千四百点。絵画を中心に、彫刻などのほか、荒木飛呂彦、浦沢直樹らの漫画作品まで幅広く



単色で表現するモノクロニズムの代表的作家、イヴ・クライン「人体測定」シリーズの一作品。有名作品で、「収蔵・いわき市立美術館」という表記が大学生向けの美術史の教科書に載っている。



イヴ・クライン「人体測定 ANT66」

いわき市立美術館データ

- 住所=いわき市平字堂根町4-4
- 休館日=毎週月曜（祝日の場合は翌平日）、年末年始（12/28～1/4）
- 開館時間=9:30～17:00
（最終入館は16:30）
- 常設展観覧料=一般220円、高・高専・大学生150円、小・中学生70円
- 電話=0246-25-1111



ヘンリー・ムーアの「横たわる人体」が正面玄関前に設置され、設立の経緯と併せてシンボルとなっている

歴史を見守る
→開館当時に移築された大きなクスノキが四十年の



無料で入場、視聴が可能な利用スペース。美術を扱ったDVD作品などを常備

価値ある作品が身近に

収集。中にはパブロ・ピカソ、アンデュー・ウォーホルなど、著名な作家の作品も含まれている。現在の友の会会員はざっと百二十人。

現代アートの評価が高まり、美術オークションなどで価格が高騰するなか、開館当時はこうした現代美術作品を収集の柱にする美術館が少なかったことで、結果的に収集品の価値が高まった。

ほかに、特徴の一つとなっているのが市美展の展示に利用されている点だ。同館の杉浦友治館長は、「市民作品の展示にも力を入れて

います。見るだけではなく、自分たちの創作物を発表する機会を作る。開館当初から、美術館に展示される市美展が作家のモチベーションを上げ、力作が集まるようになった。こうして市民の作品の質量ともに充実していった歴史がある」と、市内の美術分野での文化度向上に寄与していると胸を張る。

一方で、「予算だけでなく、収蔵スペース不足の問題で、新規の作品購入が出来ていないことなど課題も多い」と説明。過去十五年、美術品の新規購入はゼロ。増えたコレクションは寄贈品のみだ。

令和四年度の企画展、常設展観覧者数は合わせて約七万人。コロナ禍中でも人気を呼んだ「水木しげる 魂の漫画展」などが好評を得た。

海外の美術館に行かなければ見られない貴重な収蔵品もたびたび展示。国際的なアートの世界へ出かけてみよう。

(和)



食の安全・安心。さらに、おいしい
端午の節句にも シーフードケーキ
充実した品揃えで皆様のお越しをお待ちしております。

創作かまぼこ

かねまん 本舗

<https://www.kaneman.net/>
☎ 0120-17-3360

■電話・FAX・インターネットでも注文承ります。
■本店営業時間AM8:00～PM4:00(年中無休)

■本店
福島県いわき市平下高久字下原83
TEL.0246-39-3360・FAX.39-3754

■いわき・ら・ミュウ店
福島県いわき市小名浜字辰巳町43-1
TEL&FAX.0246-53-7125

皆様の幸運を招く
恵比寿様 大黒様



■オンラインショップ
www.kaneman.net
インターネットでのご注文はこちら▶

